

## (別紙2) 議事要旨

### 平成17年度西日本高速道路株式会社事業評価監視委員会議事要旨

1. 開催日時 平成18年3月3日(金) 14:00~16:50
2. 場所 西日本高速道路株式会社 18階 災害対策室
3. 出席者 [委員] 飯田委員長、斎藤委員、帯野委員、中瀬委員、向井委員  
榎本委員、井上委員、古賀委員  
[弊社] 石田会長、奥田社長、山本専務、高田取締役  
担当部長他
4. 議 事
  - [1] 委員長選出
    - ・委員の互選により、飯田委員を委員長に選出。
    - ・委員長により、事故ある場合の職務の代理者として斎藤委員を指名。
  - [2] 概要説明
    - ・事業評価の位置づけ、実施手順、B/Cの算出方法について説明。
    - ・評価対象事業(5区間)の概要説明。
  - [3] 事後評価について
    - ・京奈和自動車道(京奈道路)、安来道路、山陽自動車道(宇部JCT~下関JCT)、四国縦貫自動車道(伊予~大洲)、東九州自動車道(西都~清武JCT)の事後評価について審議。
    - ・対応方針(案)は概ね了承。
  - [4] 主な意見
    - 【京奈和自動車道(京奈道路)】
      - ・建設時の植栽については、どう維持管理していくかを考えていくべき。
      - ・交通量や用地費・工事費の計画と実績の差は、きわめて重要な点であるのでわかりやすい説明となるよう工夫すべき。
      - ・会社の収益と社会の便益に大きな差があれば、税金からの補填を要求してもいいのではないか。
    - 【安来道路】
      - ・宍道湖の西側から米子までがひとつの道路でつながったことはこの地域の人々にとっては非常に大きな喜びである。
      - ・しかし、有料・無料が入り混じっているため、トラックは無料の一般国道(9号)を通過してしまうという問題をかかえている。

- ・道路をつくることで地域を分断し、生物の行動を阻害することに対して将来的にどうしたらよいかを是非議論していただきたい。

#### 【山陽自動車道（宇部 JCT～下関 JCT）】

- ・将来、山口までつながないとリダンダンシーの面でも欠陥部分があるのではないか。
- ・山口県道路公社と連携して、交通量を増やすための弾力的な料金施策などを考えるべき。

#### 【四国縦貫自動車道（伊予～大洲）】

- ・関西方面やフェリーと連携した九州からの観光アクセス、大阪や東京などへの遠距離物流、中山間地から高度医療施設への短時間・安定的な走行の実現といった効果が認められる。
- ・本四連絡橋も含めて四国の人々が利用しやすい料金設定を検討して欲しい。
- ・観光地のネットワーク化をどう考えていくのかという観点での評価も考えて欲しい。

#### 【東九州自動車道（西都～清武 JCT）】

- ・景気停滞・原油価格高騰でフェリー廃止の恐れがあり、高速道路での農産物の輸送はさらに増えるのではないか。
- ・東九州道として一部区間しか開通していないが、将来は都市間高速となることをしっかり位置づけて評価すべき。

#### 【全般】

- ・高速道路の必要性をわかってもらうためには、わかりやすい情報を開示していく義務がある。
- ・道路を評価するうえで広域防災のネットワーク形成の観点も重要。
- ・民間会社として、毎年、交通量やその収支に与える影響等を評価していくべきであるが、その一方で物流や地域経済に与える影響もきちんと評価して欲しい。
- ・開通区間だけを評価するのではなく、既存道路との相乗効果も評価すべき。
- ・高速道路の時間短縮効果ばかりでなく、所要時間の安定性という面でも評価することを検討していただきたい。

以 上